

# **三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業検証シート**

## **【地方創生拠点整備交付金活用事業】**

**水産物6次産業化における缶詰製造施設等整備事業**

施策(2) 農業・水産業の担い手が確保され、経営力が向上している



		P										D					
事業名	事業概要	KPI					交付金を活用して施設整備した内容 (令和3年度実施内容)	令和6年度に実施を 予定していた内容	令和6年度に実施した内容								
		事業開始前	目標値(R3)	目標値(R4)	目標値(R5)	目標値(R6)					目標値(R7)						
			実績値(R3)	実績値(R4)	実績値(R5)	実績値(R6)					実績値(R7)						
			R3決算額(千円)								R6決算額 (千円)						
総事業費					交付金充当額												
令和3年度交付金活用事業		缶詰商品の純利益					※以下の整備内容のうち、①の事業費の一部(事業費のうち約31.8%)に交付金を充当。  ①三原市漁協が所有する事務所建物内及び同一敷地内に所有する既存の水産物加工施設内に、缶詰製造のための機械設備を導入配置し、販売時に必要となる缶詰用ラベルのデザイン作成を行う事業を実施する。  ②缶詰を製造するための缶詰巻締機、圧力釜、真空包装機、食品乾燥機などの設置工事を実施。 ※交付金を活用せず実施  ③缶詰用ラベルデザインの作成 ※交付金を活用せず実施  ・①～③:令和4年3月11日事業完了	14,261	1,528	【事業計画】 〈蛸の生妻煮、蛸卵の缶詰〉 ・4月・11月:賞味期限3年取得のための検査受験 ※生産・販売個数1,400個(生妻煮1,300個、蛸卵100個)を計画。  〈蛸飯の缶詰〉 ・「やっさタコ」の商標登録が取れ次第、製造・販売を開始(賞味期限1年) ・賞味期限5年取得のための検査受験 ※生産・販売個数1,700個を計画。  【資源の回復】 ・原材料となるマダコの資源回復に向けた取組(遊漁者への啓発、放流用稚ダコの生産等) ・漁協による浅場の海底耕運の実証実験  【販売促進・商品価値の向上】 ・缶詰の販売促進・販路拡大等に向けて、テレビ等の取材を通して、PRを継続的に実施 ・賞味期限延長に向け、食品検査を継続的に受験 ・市外販売率や市外消費者への認知度向上に向けて、ふるさと納税返礼品用の商品開発の実施(蛸卵の新たな商品化)  【新商品の検討】 ・魚の加工品の検討  【予算措置(間接的な支援事業)】 タコ産卵礁設置事業費補助 ・予算額 1,250千円 ・計画量 3,000個	0						
水産物6次産業化における缶詰製造施設等整備事業	●三原市漁協が所有する事務所建物内及び同一敷地内に所有する既存の水産物加工施設内に、缶詰製造のための作業場を新設するとともに、缶詰商品を製造するための機械設備を導入配置し、販売時に必要となる缶詰用ラベルのデザイン作成を行う事業を実施する。  ●缶詰の製造により、これまでの課題であった保管・運搬に冷凍や冷蔵を要するという市内販売施設の課題解決に資するとともに、今まで消費ニーズが低く、低価格での販売や廃棄されていた部位についても商品化が可能となる。  ●缶詰の調理済という手軽さから、新型コロナウイルスの影響で新たな需要となっている内食の受け皿として消費者へアプローチしていくとともに、従来の販売施設に加え、地域商社機能と観光機能を併せ持つ法人である櫛空・道・港との連携や、新たに立ち上げた漁協ECサイトでの販売により、市外への販路を拡大することで、タコ漁業を稼ぐ産業へと発展させていく。					加工製造(集荷、加工、運搬等)作業場で雇用する人数						【事業実績】 〈蛸の生妻煮、蛸卵の缶詰〉 ・4月・11月:賞味期限3年取得のための検査受験 ※缶詰の生産個数については、1,400個(生妻煮1,300個、蛸卵100個)の計画に対して2,708個(生妻煮1,934個、蛸卵774個)を販売。  〈タコ飯の素〉 ・6月～7月:開発及び試作 ・8月:販売開始 ※缶詰開発途中で、水分調整の観点から品質に問題があることが判明。開発方針を転換して、誰でも手軽に本格的なタコ飯が楽しめるレトルト商品とした。  【資源の回復】 ・原材料となるマダコの資源回復に向けた取組(遊漁者へ啓発チラシ配布)  【販売促進・商品価値の向上】 ・缶詰2種(蛸の生妻煮、蛸卵)の販売促進・販路拡大等に向けて、テレビ等の取材を通じて、PRを継続的に実施 ・賞味期限延長に向け、食品検査を継続的に受験 ・市外販売率や市外消費者への認知度向上に向けたふるさと納税返礼品への登録実施。  【新商品の検討】 ・未実施  【ブランド】 ・「三原やっさタコ」の商標登録が令和6年2月で期限切れになることから、新たに「やっさタコ」として令和5年12月に商標登録を申請。 名称から「三原」を取ることで、三原市産のみではなく、瀬戸内海産マダコ取り扱い、漁獲量の確保を図る。  【決算状況(間接的な支援事業)】 タコ産卵礁設置事業費補助 ・実績額 1,250千円 ・実績量 3,000個					
	— 千円					0						93	287	460	677		
	0.0					1,636						902	563				
	2 人					2						4 人	4人を維持	4人を維持	4人を維持		
2					4	3	3										
缶詰商品の市外販売率										— %	0						
0.0					45.0	46.0	47.0	48.0									
					%	%	%	%	%	%							



昨年度までの実施状況から分かった課題について  
【昨年度までやってきたことからこんな課題があります。】



課題等を踏まえ実施すること  
【こんなことをして課題を解決しながら目的に近づいていきます。】

C①（内部検証）							A①		C②（外部検証）		A②		
令和6年度の実施状況等							【参考】令和6年度の 外部有識者による評価・意見		令和7年度の 三原市総合戦略審議会での評価・意見		今後の方向性		
事業実施状況	事業の課題	KPIの状況				KPIの状況に対する要因分析	事業に対する 評価	事業に対する意見	令和7年度の予定内容	事業に対する 評価		事業に対する意見	
		目標値(R6) (再掲)	実績値(R6) (再掲)	達成率	結果								
D 予定していた事業 内容がほとんど実施 できなかった	①原材料となるマダコの確保 令和3年に56.3tであったマダコの 漁獲量が令和4年では16.5t、令和 5年では16.6t、令和6年では10.9t に激減(令和3年比:約80%減)し、 資源の確保が大きな課題となっ ている。(マダコに限らず瀬戸内での 水産物の漁獲量が減少傾向にあ り、これは海の栄養不足や水温上 昇による生産力の低下、遊漁者に よる乱獲、燃油・資材等の高騰に よる漁労活動の低下等の要因と 考えられており、対策に向けた調 査を県が実施中。なお、調査期間 は令和4年度から令和8年度まで の予定。)  ②缶詰 「三原やっさタコ」から「やっさタコ」 への商標登録変更により、商品デ ザイン及び販促物等の作成が必要 となる。  ③獲れる水産物を活用した新商 品の検討 マダコが不漁であるため、加工適 性がある未利用水産物及び部位 や魚価の低い水産物による商品 化の検討と試作。	460千円	563千円	122%	➡	・「缶詰商品の純利益」について は、販売初年度より減少したもの の継続購入もあり、目標を達成で きた。	地方創生の推 進に有効であつた	①缶詰製造による高付加価値化やPR は評価できるが、市内でタコを食べられ る店が少ないと思う。市民がたこを食べ る文化を創らないと、いくらPRしても広ま らない。 商標登録を変更したことを契機に、市民 にもたこを食べる文化を広めてもらいた い。  ②タコを食べたいと思う人は、一定数い ると思う。すぐに料理できるタコ飯の素な どは、家事に役立ちありがたい。また、 アレンジレシピなど紹介してもらえれば、 タコに興味を持つ人がもっと増えてくる のではないかな。  ③事業実施が、漁獲高減少に大きく左 右されている現状となっているが、商標 登録の変更に伴う、漁獲量の維持等、 今後に期待したい。	・令和7年度の事業計画 ・予算措置の状況 ・指標の見直しの有無 ・指標達成に向けての改善点 など	【事業計画】 〈蛸の生姜煮、蛸卵の缶詰〉 ・4月・11月:賞味期限3年取得のための検査受験 ※生産・販売個数2,150個(生姜煮2,000個、蛸卵150個) を計画。  〈タコ飯の素〉 ・製造・販売を8月中旬から開始(賞味期限3カ月) ・賞味期限5年取得のための検査受験 ※生産・販売個数2,500個を計画。  【資源の回復】 ・原材料となるマダコの資源回復に向けた取組 (遊漁者への啓発、放流用稚ダコの生産等) ・漁協による浅場の海底耕運の実証実験  【販売促進・商品価値の向上】 ・缶詰の販売促進・販路拡大等に向けて、テレビ等の取 材を通して、PRを継続的に実施 ・賞味期限延長に向け、食品検査を継続的に受験 ・市外販売率や市外消費者への認知度向上に向けて、 ふるさと納税返礼品用の商品開発の実施(蛸卵の新た な商品化)  【新商品の検討】 ・魚の加工品の検討  【予算措置(間接的な支援事業)】 タコ産卵礁設置事業費補助 ・予算額 1,250千円 ・計画量 3,000個	地方創生の推進に 有効であつた	①原料となるタコが獲れないこと で苦戦している事業である。産卵 礁の設置等、漁獲量の維持に今 後も取り組んでほしい。  ②KPIの「缶詰商品の純利益」に ついては目標値を達成しており、 「加工製造作業場で雇用する人 数」については目標値に達して はいないものの、3人は維持して いる点は評価できる。  ③「缶詰商品の市外販売率」は 落ちているが、市内へ88%を優先 して販売している状況であること を考慮し、地方創生の推進に有 効であつたとしたい。	①タコ産卵礁の設置を今後も継続して取り組 む。また、タコ産卵機能を兼ね備えた、藻場礁 の設置も継続的に取り組む。  ②三原市漁協のホームページやECサイトの 活用強化について漁協と協議し、純利益向上 に努める。雇用人数についても維持に努め る。  ③市内へ優先して販売している状況ではある が、漁協と協議し、ECサイトの販売強化につ いても促進に努める。
		4人	3人	75%	➡	・「加工製造作業場で雇用する人 数」については、原材料が減った ため、余剰人員が発生し、1名の 減となった。							
		47%	11%	23%	➡	・「缶詰商品の市外販売率」につ いては、商品生産量が限られて いること、また、市内需要が高 かったことから、市内販売に注力 したため、目標値を下回る結果と なった。							

# **三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略 事業検証シート**

## **【デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)活用事業】**

**市民のスポーツ実施率向上事業**

基本目標3 魅力とファンを創る

施策(1)「三原ならではの」魅力的なコンテンツが整っており、市を訪れる人が周遊・滞在している

事業内容の説明 【こんな事業です。】										令和6年度に実施した内容について 【昨年度はこんなことをしました。】		
P										D		
事業名	事業概要	KPI					令和6年度に実施を 予定していた内容	令和6年度に実施した内容				
		事業開始前	目標値 (R5)	目標値 (R6)	目標値 (R7)	目標値 (R8)					目標値 (R9)	
			実績値 (R5)	実績値 (R6)	実績値 (R7)	実績値 (R8)		実績値 (R9)	R6決算額(千円)		総事業費	交付金充当額
市民のスポーツ実施率向上事業	・本市では、全国平均と比べて、市民のスポーツ実施率が低い現状がある。(1年間ほぼスポーツをしない人の割合(H28):全国27.2%→三原市37.6%)  ・そのため、新たなスポーツ大会やスポーツイベントを開催し、子どもから大人までの幅広い世代に対してスポーツに関わるきっかけを提供することで、スポーツ実施率の向上を図り、市民が健康で心豊かな生活を送ることができるまちをめざす。  【主な事業】 次の事業を実施することにより、スポーツを「みる」「する」機会を提供し、楽しさに触れることで、スポーツ実施率の向上を図り、健康で豊かな生活に寄与する。 1 自転車活用事業@佐木島 ※幅広い世代向け 佐木島におけるプロからアマチュアまでを対象とした自転車ロードレースの開催を支援する。 加えて、市公式YouTube等でのレースのプロモーション動画配信や、バーチャルサイクルアプリを活用したサイクリングの疑似体験など、デジタル技術を活用した取組を実施する。  2 スポーツのテーマパークリニューアル事業 ※子ども向け 三原市体育協会と連携し、小学生向けに一日で複数の競技が楽しめる体験会を開催することで、スポーツの楽しさを知ってもらい、スポーツを始めるきっかけづくりとしてもらう。 令和4年度にトライアルとして屋内競技のみで実施したところ好評だったため、屋外競技を追加することで、さらなる参加者の拡大を図る。	生涯スポーツイベント(自転車活用事業@佐木島、スポーツのテーマパーク)への参加を通じて「これからも継続してスポーツに取り組みたい」と感じた参加者の割合					1 自転車活用事業@佐木島  ① 佐木島自転車レース運営補助 佐木島ロードレース実行委員会に対して補助金を交付。 【レース概要】 ・開催日 7月27日(土) ・会場 佐木島(1周約10kmの周回コース) ・目標参加者数 252人(プロ22チーム計132人、アマチュア120人) ・目標観客数 1,500人 ・運営経費の内容:委託費(会場設営費、警備、映像撮影等)、事務費、広告料、ボランティア経費等  ② 佐木島自転車レース広報 ※新規事業 レース広報及び大会会場での地元団体による魅力的なステージイベントを実施することにより、観客の増加を図る。 【実施内容】 ・三原駅へのカウントダウンポート設置 ・商店街へのバナー設置 ・ステージイベント出演委託  ③ プロモーション動画配信 佐木島ロードレースのプロモーション動画を制作・配信。  2 スポーツのテーマパークリニューアル事業  屋外5種目(軟式野球、陸上、ソフトボール、サッカー、ソフトテニス)の継続開催。 また、チラシを増刷し、各種公共施設や商業施設へ設置する。 ・支出内容:チラシ、スタンプラリー台紙の作成等	1 自転車活用事業@佐木島  ① 佐木島自転車レース運営補助 佐木島ロードレース実行委員会に対して補助金を交付。 【レース概要】 ・開催日 7月27日(土) ・会場 佐木島(1周約10kmの周回コース) ・参加者数 162人(プロ17チーム計88人、アマチュア74人) ・観客数 1,100人 ・運営経費の内容:委託費(会場設営費、警備、映像撮影等)、事務費、広告料、ボランティア経費等  ② 佐木島自転車レース広報 ※新規事業 レース広報及び大会会場での地元団体による魅力的なステージイベントを実施することにより、観客の増加を図る。 【実施内容】 ・三原駅へのカウントダウンポート設置 ・商店街へのバナー設置 ・ステージイベント出演委託(やっさ、太鼓、チア、ダンス) ・三原駅看板設置  ③ プロモーション動画配信 佐木島ロードレースのプロモーション動画を制作・配信。 ・配信箇所:市HP、市公式YouTube、大会HP、MCAAT、三原駅前及び三原港デジタルサイネージ(やっさだるマン型)  2 スポーツのテーマパークinみはら(屋外編)  屋外5種目(軟式野球、陸上、ソフトボール、サッカー、ソフトテニス)の継続開催。 また、チラシを増刷し、各種公共施設や商業施設へ設置する。すぐるやFMみはらでの周知も実施。 ・支出内容:チラシ、スタンプラリー台紙の作成等 参加者数:179人	5,820	2,910		
		—	50.0	55.0	60.0	—					—	
		—	52.2	66.7								
		1年間ほぼスポーツをしない市民の割合									37.6	
		—	28.8	—	—	23.5						
		48.4	—	—	—	—						



課題等を踏まえて実施すること。  
【こんなことをして課題を解決しながら目的に近づいていきます。】

C①（内部検証）							A①		C②（外部検証）		A②		
令和6年度の実施状況等						【参考】令和6年度の 外部有識者による評価・意見		令和7年度の予定内容	令和7年度の 総合戦略審議会での評価・意見		今後の方向性		
事業実施状況	事業の課題	KPIの状況				KPIの状況に対する要因分析	事業に対する 評価	事業に対する意見	・R7年度の事業計画 ・予算措置の状況 ・指標の見直しの有無 ・指標達成に向けての改善点 など	事業に対する 評価	事業に対する意見	総合戦略審議会での意見を踏まえた事務改善や予算措置など、今後の方向性（予定を含む）を記載	
		目標値(R6) (再掲)	実績値(R6) (再掲)	達成率	結果								
B 予定していた事業 内容どおり実施した	1 自転車活用事業@佐木島 佐木島ロードレースは予定どおり開催された。 しかし、参加者数及び観客数は目標を下回ったため、増加に向けての取組が必要。	55	%	67	%	121%	本事業実施における広報活動や自転車安全教室等の、市民がスポーツに触れる機会をより多く提供できたことにより、目標達成を図ることができたと考えている。	地方創生の推進に有効であった	①自転車ロードレースは、地元の子どもに見てほしいが、今年度の大会では、子どもの数が少なかったように思う。 もっと子どもが見に行けるような仕組作りをお願いしたい。  ②この事業では、普段スポーツをしない人やスポーツイベントに来ない人をいかに動かすかが重要だと思う。 その辺りにも力を入れてもらえれば、事業の価値は更に上がる。  ③この事業は、自転車ロードレースのプロチームが運営しており、広告収入もあるので、継続の可能性を感じる。 日本唯一の離島での自転車レースという珍しい存在であり続けてほしい。	1 自転車活用事業@中央森林公園  【レース概要】 ・開催日 7月5日（土） ・会場 広島県立中央森林公園（1周12.3kmの周回コース） ・目標参加者数 345人（プロ21チーム計168人、アマチュア177人） ・目標観客数 1,200人 ・運営経費の内容：委託費（会場設営費、映像撮影等）、事務費、広告料、ボランティア経費等  【実施内容】 ・八天堂にレース告知の看板を設置 ・空港周辺施設や公共施設にポスターやチラシを配布 ・空港周辺施設が運営しているSNSアカウントでレース情報を発信 ・ステージイベント出演委託 ・レース会場で誰でも楽しめる無料抽選会を実施 ・レース終了後も空港周辺施設で利用できる特典カードを配布  ②プロモーション動画配信 広島三原ロードレースのプロモーション動画を制作・配信。  2 スポーツのテーマパークリニューアル事業  屋外5種目（軟式野球、陸上、ソフトボール、サッカー、ソフトテニス）の体験イベントの開催にあたり、チラシを作成し、公共施設や小学生の保護者へ配付することにより、周知を行う。また、当日、各種目の体験毎に台紙へスタンプを押し、体験数に応じて参加賞を配付することにより、参加意欲の増加を図る。 ・支出内容：チラシ、スタンブラリー台紙の作成等	地方創生の推進に有効であった	①自転車ロードレースの会場について、中央森林公園を活用しないのもったいないと考えていた。周辺には関係企業も多く、広島のレースといえばここしかないという気持ちで取り組んでほしい。  ②スポーツのテーマパークについて、とてもよい取組であり、事業を継続していつてもらいたい。対象年齢の範囲を広げたり、高校生や大学生に手伝ってもらうことができれば、若年層の方への取組の周知に有効と考える。  ③スポーツのテーマパークの中で、親子が一緒にスポーツをする時間を作るというのではないかな。  ④スポーツのテーマパークの開催場所について、久井や大和の子どもの参加を促すために、白竜湖等での開催を検討してほしい。また、学校でクラブ活動をしていない学生もいるため、中学生等にもスポーツに触れる機会を作ってほしい。	①中央森林公園周辺の企業と連携を取り、自転車ロードレースに興味がない方でも、会場にお越し頂けるような取り組みを実施し、中央森林公園ならではのロードレースにしていきたい。  ②今後も継続して事業を実施し、地元大学と連携するなど、より効果的な周知方法を検討する。  ③イベント内容の再考を行い、親子で参加しやすい事業にできるよう検討していきたい。  ④開催場所については、各学校と連携し、よりよい形を検討していきたい。 中学生等のスポーツに触れる機会に関しては、実施中である三原市地域スポーツ活動事業への参加を促していきたい。
	2 スポーツのテーマパークinみはら（屋外編） 定員を超えるなど多くの参加者を集めることができたが、一部の種目（ソフトボール）で定員を満たさなかったため、積極的な広報が必要。	28.8	%	—	%	—							